

2019年8月24日～2019年8月30日

2019年9月3日

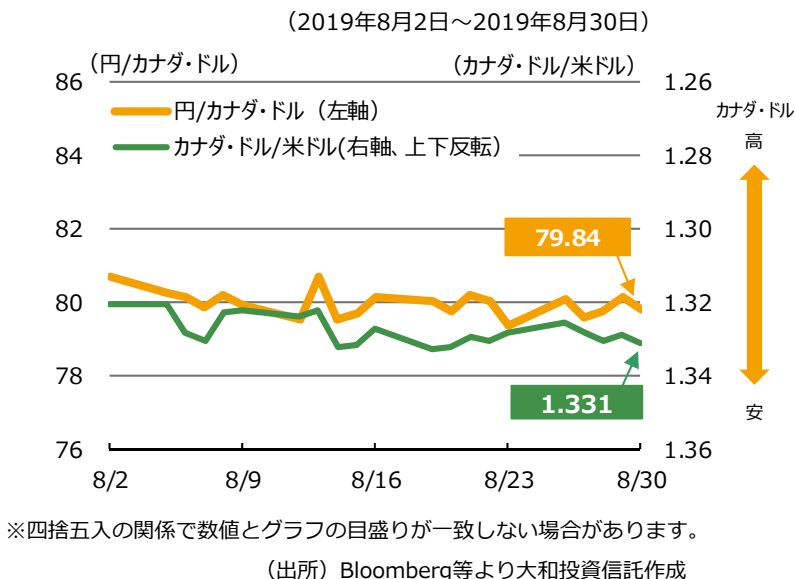
先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは横ばいになりました。

中国商務省が貿易摩擦を激化させることは米中どちらのためにもならず、新たな追加関税の撤回について議論する必要があると述べたことで、米ドル高円安が進み、カナダ・ドルも対円で上昇しました。カナダの金利は米国の金利に連れて、方向感なく推移しました。

経済指標ではGDP（国内総生産）が発表になっており、輸出などが好調だったことから、市場予想を上回る良好な結果になりました。

カナダ・ドル 為替推移

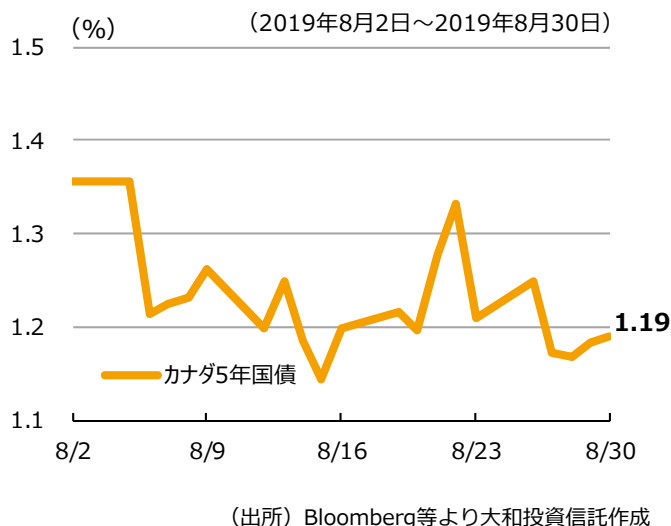


今週の見通し

今週、カナダでは雇用統計の発表が予定されており、引き続き労働市場が堅調に推移していることを示す結果となることが予想されています。

また、カナダ銀行（中央銀行）の金融政策決定会合が開催される予定になっており、政策金利の据え置きが見込まれています。カナダ経済は良好な状況にありますが、米中貿易戦争の影響を受けて、世界経済に不透明感が広がる中で、政策金利の見通しに関してどのような声明文を発表するのか注目が集まります。

カナダ 金利推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。